

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 4 4 報】 ◆◆◆ (所管：危機管理課)

- 6 月 2 9 日 宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 7 班（松尾・林・前田組）から 2 8 日の業務報告メールが届きました。その概要は以下のとおりです。
- ⇒ 業務については通常の通り。
 - ⇒ 午後 1 時 4 5 分から自衛隊の吹奏楽の演奏が 3 0 分間あった。
- 6 月 3 0 日 宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 7 班（松尾・林・前田組）から一日の業務のタイムスケジュールの報告メールが届きました。このメールについては、第 8 班の業務の参考とするために送られてきたものです。
- 7 月 1 日 宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 7 班（松尾・林・前田組）から 3 0 日の業務報告メールが届きました。その概要は以下のとおりです。
- ⇒ 歌手の北島三郎さんが慰問のため近くの小学校でコンサートを開かれ、文化会館に避難している被災者も観に行かれたため夕食が通常より 3 0 分遅くなった。
 - ⇒ 気仙沼市の避難所は、6 月 2 9 日現在 5 2 施設、2, 3 1 9 人が避難されており、市民会館にはそのうちの 1 5 0 人が避難されている。
 - ⇒ 3 0 日には第 4 回の災害義援金の配分がおこなわれた。
 - ⇒ 午後の空き時間に復興状況を確認してきたが、ほとんどで瓦礫撤去がおこなわれているが、まだ全く復興が進んでおらず、瓦礫がそのままになっていて震災直後を思わせる箇所があり、復興までは程遠く感じた。
- 7 月 3 日 宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 8 班（辻本・東組）から、第 7 班と引き継いだ内容の業務報告メールが届きました。
- ⇒ 二人とも元気にやっている。
 - ⇒ 3 日には気仙沼高校の吹奏楽部や『ぽれぽれ』（アフリカン太鼓チーム）の演奏があり、被災者の皆さんが楽しまれた。
- 7 月 6 日 宮城県気仙沼市に派遣される行政支援チーム第 9 班 2 名の激励が、市長室でおこなわれました。第 9 班は 7 月 7 日から 7 月 1 3 日までの予定で、気仙沼市民会館避難所で避難所運営支援活動を実施します。第 8 班のメンバーは次のとおりです。（順不同）
- ⇒ 企画財政部企画課 西川 司 主任
 - ⇒ 企画財政部税務課 今西宏彰 主任 (※掲載順不同)
- また市長は、気仙沼市長と市民会館に避難されている皆さんにと、ビデオレターを二人に託しました。
- 7 月 7 日 奈良県保健師チームの一員として宮城県に派遣される宇陀市の保健師 2 名の激励が、市長室でおこなわれました。派遣は 7 月 1 0

日から7月15日までの予定で、気仙沼市総合体育館避難所で避難されている方々の健康管理や相談、避難所の衛生管理に従事する予定です。派遣される保健師は次のとおりです。(順不同)

⇒ 健康福祉部健康増進課 鴻池通子 課長

⇒ 健康福祉部大宇陀保健センター 吉田抄子 主任 (※掲載順不同)

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ (所管：危機管理課)

7月 1日 7月1日から7月10日まで、CATVうだチャン11の『宇陀市ホットニュース』で、これまでの東日本大震災に対する宇陀市の人的支援活動の概要が報告されています。

7月 4日 宇陀市が職員を派遣している宮城県気仙沼市の市民会館館長 松下尚子さんから市長宛にお手紙をいただきました。その概要は次のとおりです。(所管：秘書広報情報課)

⇒ 宇陀市からの職員派遣に対するお礼と従来の市民会館の職員体勢について

⇒ 市民会館の避難者は、当初は500人以上居たが現在は140人余りまで減少したこと

⇒ 気仙沼市長が、不自由な避難生活は8月末をメドにと表明していること

7月 5日 東日本大震災に宮城県気仙沼市で被災された、宇陀市出身の藤江多絵子さんから市長宛にお手紙をいただきました。その概要は次のとおりです。(所管：秘書広報情報課)

⇒ 地震の当日は、子供さんを車で小学校に迎えに行き、車に乗せられた直後に地震にあわれたそうです。

⇒ ご自宅は高台にあったため津波の被害は免れたものの、地震から10日間はライフラインの停止により、極めて不自由な生活を強いられ、また親戚や知人も被災されたため、心身ともに沈み込まれた状況にあったとのこと。

⇒ 食料の配食を受けに行った市民会館の避難所で宇陀市の職員を見かけられ、ふるさとの宇陀市の職員と話したことで、震災から初めて心の底から笑うことができた。市民会館避難所へ行くのが楽しみになった。市長や遠くまで支援に来てくれた職員に感謝している。と書いていただきました。

遠くで避難所運営を支援する職員に、またふるさとの宇陀市の対応にこれほどまで感謝していただき、支援をさせていただいている宇陀市としても、この上のない喜びです。

藤江様をはじめ、被災者の方々が一日も早く、もとの楽しい一家団欒の生活に戻られるよう、お祈り申し上げます。

7月 7日 福島県は奈良県を通じて、県内各市町村に対して次の周知について協力を求める文書を発しています。

⇒ 避難者の皆様へ 福島県からのお知らせ

⇒ 「県民健康管理調査」に関するお願い

◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

6月29日 県は、3月23日からおこなっている浄水の放射性物質の分析調査を、奈良県公式ホームページで公表しています。
現在まで県内の浄水場及び一般家庭蛇口などで採取した試料からは放射性ヨウ素131、放射性セシウム137ともに検出されていません。
宇陀市水道局蛇口で4月8日に採取した試料の分析結果は以下のとおりです。
⇒ 放射性物質：ヨウ素131 検出せず
 セシウム137 検出せず

◆◆◆ 宇陀市の義援金報告 ◆◆◆ (所管：厚生保護課)

総額22,665,884円(個人・団体：21,683,991円、義援金箱：981,893円)

※平成23年3月14日～7月1日まで

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

※県の救援物資の受入れは、4月11日から停止しています。

新たな動きがあれば、その時点でお知らせします。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況及び入居状況は下記のとおりです。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数100戸 | 内) 入居決定19戸（入居人数：61人） |
| ⇒ 市町村営住宅：入居可能予定戸数62戸 | 内) 入居決定 5戸（入居人数：15人） |
| ⇒ 公的(UＲ)賃貸住宅：入居可能予定数80戸 | 内) 入居決定 3戸（入居人数： 6人） |
| ⇒ 公的（雇用促進）住宅：入居可能予定数58戸 | 内) 入居決定 0戸（入居人数： 0人） |

平成23年7月4日 16:00現在

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。併せてご了承下さい。